

雑がみキャンペーンの実施について (計画書)

資料6

1. 現状と目的

H23年度に実施した「一般廃棄物(家庭系ごみ)組成分析調査報告書」によると、燃やすごみの中に含まれていた紙類は26%で、そのうち6割以上がお菓子の箱や段ボールなどのリサイクル可能な雑がみ等であった。この紙類をきちんと分別することによりごみの減量の促進を図るため雑がみキャンペーンを実施する。

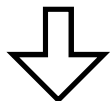
2. 予算

140,000円

(雑がみを入れて搬出するための紙袋、アンケート用はがきの購入費用として)

3. なぜ、 雑がみが燃 やすごみに 出されるの か？

上記報告書のアンケートによると「ごみの搬出や減量に関して困っていることは？」との問いに対して最も多い回答は「分別の仕方がわからない」



一般的には「雑誌類」に雑がみを含むと連想しにくいのではないかと



雑がみが再生資源であることの周知不足も要因の一つと考えられる

4. キャンペーン内容

再生資源集団回収の登録団体へ雑がみキャンペーンとアンケートへの協力を依頼し、雑がみの分別収集の促進を図る

H27年10月初旬

集団回収登録団体の代表者へ雑がみキャンペーンの趣旨を説明し了承を得られれば、団体会員へ雑がみを入れる封筒、分別方法のチラシ、アンケートはがきを配布し、雑がみの資源回収への協力を依頼する

平成27年10～12月(三か月間)

雑がみの分別収集強化月間

平成28年1月

再生資源集団回収奨励金申請とアンケートの提出

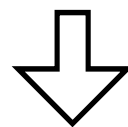
5. キャンペーンの対象者

前年同期との比較による検証のしやすさと、団体会員への配布のしやすさを考慮し、集団回収の登録団体のうち大規模集合住宅の中から数棟を選出

6. 結果の 検証

平成28年2月

奨励金申請書を基に、雑誌類の回収状況を前年同期と比較し、結果の検証をする。また、アンケート結果を反映させた雑がみキャンペーンチラシを作成する



自治会を通じて雑がみキャンペーンチラシを回覧してもらい、市内全域で雑がみの分別収集の促進を図る